



## 地域・だいがく連携通信

### —神戸大学地域連携ニュース—

神戸大学地域連携推進室  
〒657-8501  
神戸市灘区六甲台町 1-1  
TEL : 078-803-5427  
FAX : 078-803-5389  
E-mail : ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp

## 新しい連携の形を探る

### — 神戸新聞社と連携協定を締結

神戸大学は、平成26年7月7日(月)、地域の課題解決や地域社会の発展を目指して、神戸新聞社と包括的連携協定を締結しました。具体的には、①地域再生・地域振興の推進、②地域保健医療の推進、③防災・減災に関する取組、④教育の推進・人材育成、以上の4つの分野で、大学の「専門知」と新聞社の「社会知」の融合させた新しい形で、地域の発展に貢献する活動を行っていきます。

この協定締結を記念して、平成26年7月25日(金)に、「つながりかす 地域のか」と題したシンポジウムが、神戸大学出光佐三記念六甲台講堂で開催されました。



神戸大学 神戸新聞

入場無料  
当日参加可

## つながりかす 地域のか

神戸大学・神戸新聞社連携協定締結記念シンポジウム

人口減や少子高齢化が進むなかで、神戸大学と神戸新聞社が包括的連携協定を結び、研究と取材・事業をミックスさせ、地域のさまざまな課題解決に貢献して取り組めます。行政や企業・市民を対象にした交流も盛り、地域課題に取り組む人々をつなぎます。

(日) 平成26年7月25日(金) 13:20~17:00

(会場) 神戸大学出光佐三記念六甲台講堂  
〒657-8501 神戸市灘区六甲台2-1

**プログラム** (詳細は後述のチラシをご覧ください)

**【基調講演】 井戸敏三 兵庫県知事**  
「ひょうごから未来を切り拓く」

**【パネルディスカッション】**  
テーマ/大学・新聞社—取り組みの紹介と協働の可能性  
パネリスト/神戸大学人文学・保健学・農学の各研究科地域連携センター  
神戸新聞社副社長・企画総務局・地域活動局の代表

**交流会 17:15~** 交流会のお参加申し込み必須

語らう地域課題—取り組み人をつなぐ  
大学と新聞社、行政や企業・市民の人間ネットワークを作り、地域課題に取り組めます。

会場/六甲台レストランから神戸大学社会科学系アカデミア館

主催/国立大学法人神戸大学・株式会社神戸新聞社  
後援/兵庫県・神戸市・六甲台地区公民館・六甲台地区自治会

まず、高士薫神戸新聞社社長による、挨拶及び趣旨説明があった後、井戸敏三兵庫県知事による「ひょうごから未来を切り拓く」と題する基調講演が行われました。続いて、大国正美神戸新聞社企画総務局長、奥村弘神戸大学地域連携推進室長から、それぞれの活動の取組紹介が行われました。休憩時間をはさんで、神戸大学および神戸新聞社の関係者によるパネルディスカッションが行われ、大学と新聞社が手を結ぶことで何ができるか、今後の連携の可能性について探りました。当日は、約260名の参加があり、壇上の議論に熱心に耳を傾けました。

シンポジウム後に開かれた交流会では、大学や新聞社、自治体、企業等様々な立場の方から約110名の参加がありました。会場では積極的に参加者同士の交流がなされ、地域課題に取り組む人々をつなぐ機会となりました。

次回は、平成26年12月7日(日)に篠山市民センターにて神戸大学と神戸新聞社による2回目のシンポジウムが開催される予定です。



井戸県知事による講演



パネルディスカッションの様子



学生による農産物の直売

# 映像を媒介とした大学とアーカイブの地域連携

## — 学内公募地域連携事業より

学内の地域連携の芽を育てるため、毎年、教職員を対象に「地域連携事業」を公募しています。今年度採択された「映像を媒介とした大学とアーカイブの地域連携」事業について、国際文化学研究所の板倉史明先生にお話をお聞きしました。

### — どのような事業か、概要をお教えてください。

神戸には、「神戸映画資料館」という民間の映画資料館（アーカイブ）があります。ここは、多数の映画フィルムや映画関連資料を有する価値の高い資料館です。ただ、これまで専属のスタッフ数が少ないこともあり、資料整理があまり進んでいませんでした。昨年度から地域連携事業に採択され、整理や調査を進めています。

### — 神戸映画資料館について、もう少し詳しくお教えてください。

神戸映画資料館は、民間の手で2007年3月に設立されました。館長さんが神戸出身で、95年の震災以降、神戸に拠点をおいた資料館の設立を考えておられたそうです。

資料館には、日本映画に限らず、世界中から1万本以上のフィルムやそのポスター、シナリオなどの紙資料、そして映写機、撮影機などの機材も網羅的に収集されています。この資料館の優れているところは、それらの資料を国内外の研究者に広く公開しているところです。

ここ数年、資料館は助成金を獲得して活動の範囲を広げています。昨年からは、神戸映画資料館が参加している「神戸ドキュメンタリー映画祭実行委員会」の名前で神戸市の助成を受けています。具体的には神戸と映画の関係について調査・研究し、一般に公開して地域貢献をする活動です。映画祭

では、神戸市所蔵のスチール写真をアーカイブしている「神戸アーカイブ写真館」と連携し、神戸最大の興行街であった新開地の映画館の写真を活用したトークイベントなども実施しています。



「ホームムービーの日 in 神戸」プレ企画  
映像が伝える神戸 街と人のヒストリー

水戸黄門漫遊記や七変化、新東宝映画は、1955年の神戸・淡路島震災で大きな被害を受けたが、その後の復興活動により復興の証として残された。昔からここに暮らすみなさん、震災後の賑わいが残った人々、そして復興期から新開地を語る人々、この賑わいの歴史を語られた映像が伝えます。

9月20日(土)・21日(日)

神戸映画資料館 TEL078-754-8039  
川崎区山手町4-1-1 山手ビル1F (近鉄山手駅より徒歩1分)



### — 地域資料、地域の遺産としてフィルムを活用していこうという動きが始まっているのですね。

資料館には、ホームムービーのフィルムもたくさんあります。毎年10月になると世界中で「ホームムービーの日」というイベントが行われていますが、神戸でも開催されています。撮影者や遺族の解説付きで、みんなで過去のホームムービーをみようというものです。

これまでホームムービーは、単にプライベートな家族の映像であって、芸術的な価値はないと一般的に思われてきました。しかし、時がたってみると、既に失われてしまった風景や建物や、当時の人々の日常風景が写っている貴重な歴史資料だという認識が徐々に広まってきています。また高齢の方にとっては、過去の映像を見ることで記憶が甦る効果もありますし、みんなでホームムービーを見ることによって地域のコミュニティの結束が強くなる機能もあるのです。

過去の映像を大切に保存しようとの雰囲気はここ10年位で急速に高まっている気がします。特に2009年にはじめて、国の重要文化財に映画フィルムが指定されたことは、映画フィルムの保存にとって大きな出来事でした。

神戸映画資料館には色んな分野の映像が保存されています。そこに参加する人たちの興味関心によって、もっと所蔵資料の価値が認識されてゆくとお思います。今後、社会学者や歴史学者など、様々な分野の方々と一緒にプロジェクトができれば良いと考えています。

### — 先生のご専門についても教えてください。

私の専門は、映画の歴史や映画作品を分析する「映画学」という分野ですが、以前から地域の映画史に興味があり、明治以降の京都の交通網の発達や、撮影所や映画館の立地とどのように関係しているかについても調べたことがあります。神戸でも、『神戸新聞』や『神戸又新日報』を活用して、フィルムアーカイブと映画史の研究を組み合わせ「神戸映画史」の研究を進めたいと考えています。

## 安心・安全のまちづくりを目指して — 都市安全研究センター RCUSS オープンゼミナール

都市安全研究センター（Research Center for Urban Safety and Security、RCUSS）では、8月23日（土）にRCUSSオープンゼミナールを開催しました。第186回目の今回は、中国四川ブンセン地震および中国雲南地震について、教員と学生の3名から中国の災害支援と復興に関する現状や日本との差異について報告がありました。

都市安全研究センターは、阪神・淡路大震災の翌年、1996年5月に設置され、「防災」と「減災」の両面から、より積極的に住民の命を守る安心・安全な社会の構築を目指す仕組みや手法を研究しています。また、防災の知識が住民の意識に根付くことで、大学の研究成果が真に役立つという信念のもと、情報発信にも力を入れています。その一環として、1997年から、RCUSS オープンゼミナールを継続して開催してきました。

ゼミナールは、大学の教職員や学生にだけでなく、自治体、民間企業、安全、安心に関心を持つ住民の方々に向け、都市の安全・安心なまちづくりに関する報告を行っています。報告後には、参加者から質問を受け付け、報告者とやり取りすることで、さらに知識を深めることができるとともに、参加者が必要と考える災害科学の研究のあり方についても議論を行うなど、双方向での対話を行っていることが、このオープンゼミナールの特徴です。



近年、地震や台風、記録的大雨等による災害が多く発生している日本において、こうした研究はますます重要になっています。センターでは、オープンゼミナールのほか、様々な研究調査・社会活動を「見・聞・触型イベント」として紹介する「オープンセンター」（年1回開催）や、神戸新聞紙面への「安心の素コラム」掲載（毎月第3月曜日）を通して、防災知識を地域住民の方に広くわかりやすく伝えています。今後も研究を続けるとともに、情報発信を通して、大学の知を防災・減災に生かしていきます。（参考：<http://www.rcuss.kobe-u.ac.jp/>）

\*\*\*\*\*

## まちTフェス' 14を開催！

### — 神戸大学まちプロジェクト実行委員会

8月30日（土）・31日（日）に、神戸大学まちプロジェクト実行委員会による「まちTフェス' 14」が六甲道駅近くの公園で開催されました。会場では、不要になったTシャツで作られたわなげやストラックアウト、あみぐるみづくり体験などが開かれ、地域のこどもたちが楽しそうに遊ぶ姿がみられました。また、ステージでは、大学のジャグリング



サークルや高校のコーラス部による発表、防災



について学べるクイズ大会が開催されたほか、協賛店のカードを集めるウォークラリーなど学生ならではのアイデアがたくさん詰まった催しとなりました。

この実行委員会は、建築を学ぶ学生を中心に構成され、このようなイベントの主催や、自治体と共催でイベントや講習会に参加することで、学生と地域を結ぶ架け橋となっています。

## 平成26年度 地域連携 学内公募事業

地域連携推進室では、学内の新しい地域連携の芽を育てるため、各部局等で計画されている事業の支援や、学生による地域社会を活性化しようとするための活動の支援をおこなっています。今年度は、次の各事業が採択されました。

### 地域連携事業（教職員対象） 採択事業

申請部局名	申請事業名
国際文化学研究所	映像を媒介とした大学とアーカイブの地域連携
経済学研究所	多可町「菜の花エコプロジェクト」「ASABAN プロジェクト」との地域連携事業
人間発達環境学研究所	ESD ボランティア育成プログラム拡張支援事業
人間発達環境学研究所	兵庫県における科学を通じたコミュニティ・エンパワーメント
医学研究所	医学部医学科・保健学科学生による健康教育公開講座事業
医学部附属病院	兵庫県喘息死ゼロ作戦
都市安全研究センター	オープンセンターによる地域連携事業
キャリアセンター	避難所ワークショップを通じた多様性にもとづく震災文化の継承
ボランティア支援部門	一南海トラフ地震にそなえた学生と地域の協働

### 学生地域アクションプラン（学生対象） 採択事業

申請団体名	申請活動名
にしき恋	篠山市西紀南地区における農村地域活動
「CyberBird」プロジェクト	神戸異人館観光ナビゲーションプロジェクト
GAOU プロジェクト	GAOU プロジェクト
大船渡支援プロジェクト実行委員会	赤崎復興市たこ焼きプロジェクト
KOBE 足湯隊	能登半島地震の被災地における地域コミュニティ活性化のための交流会
神戸学生森林整備隊	神戸市しあわせの森における森林計画・整備事業
明舞団地の歴史を記録する会	明舞団地における地域住民の交流促進のためのバスツアー

## 平成26年度 神戸大学・灘区まちづくりチャレンジ事業助成

灘区との間で締結された連携協定に基づき、平成17年度より、本学の教員・職員・学生からなる組織を対象に「地域の課題解決および魅力向上を目的として実施する活動・事業」に対して灘区が助成を行っています。今年度の採択事業は次のとおりです。

申請団体名	申請事業名
まちプロジェクト実行委員会（学生）	まちプロジェクト - まちTフェス'14
GAOUピザ釜工房（学生）	命をつなぐ環境造形

## 活動報告（2014年3月～2014年9月）

3月 06日	灘区と打ち合わせ
10日	広報誌 KOBE 学生参加打ち合わせ
17日	大学と連携したまちづくりチャレンジ事業助成（灘区公募事業）公募開始
20日	青野原俘虜収容所展 2014（仮称）実行委員会
24日	地域連携事業・学生地域アクションプラン公募開始
28日	地域・だいがく連携通信第14号を発行
31日	平成25年度神戸大学地域連携活動報告書を発行
4月 08日	神戸新聞社と協定締結について協議
09日	三木市史編さん事業意見交換
25日	大学と連携したまちづくり助成事業審査（灘区役所にて、オブザーバーとして出席）
30日	第6回大学連携実務者会議に参加（神戸市）
5月 12日	平成26年度第1回地域連携推進室会議
16日	青野原俘虜収容所展 2014（仮称）実行委員会
27日	神戸新聞社と協定締結について協議
6月 11日	第7回大学連携実務者会議に参加（神戸市）
12日	神戸新聞社と協定締結について協議
20日	青野原俘虜収容所展 2014（仮称）実行委員会
23日	朝来市と打ち合わせ
7月 07日	神戸新聞社との連携協定調印式
11日	青野原俘虜収容所展 2014（仮称）実行委員会
16日	第9回 A-launch（農学研究所地域連携センター）
25日	神戸大学・神戸新聞社連携協定締結記念シンポジウム「つなぐ いかす 地域の力」を開催
8月 04日	灘区民まちづくり会議に出席
07日	神戸のつどい（東京）に参加
30日	まちTフェス'14開催（～31日、灘区：大学と連携したまちづくり助成事業）
9月 17日	青野原俘虜収容所 2014（仮称）実行委員会